スマホでのキャッシュレス決済の利用に関する調査データ ~利用層の分析 編~

2023年3月

朝日大学マーケティング研究所

■調査手法 : WEBリサーチ

■調査期間 : 2023年 1月17日(火)~1月20日(金)

■調査対象 : 関東在住の男女 20歳~59歳

■有効回答 : 400名

【内訳】

| | 男性 | 女性 |
|--------|------|------|
| 20~29歳 | 50名 | 50名 |
| 30~39歳 | 50名 | 50名 |
| 40~49歳 | 50名 | 50名 |
| 50~59歳 | 50名 | 50名 |
| 合計 | 200名 | 200名 |

スマホでのキャッシュレス決済の利用層のうち、70.5%が交通系のアプリを利用。性別でみると男性(72.7%)が女性(68.1%)を僅かに上回る。

交通系アプリの利用層のうち、「買い物と交通機関の乗車券・定期券で利用」が51.6%であり、どちらかのみの利用層は男性(18.0%)、女性(19.8%)ともに約2割。

Q. ご自身のスマホで交通系のキャッシュレス決済(suica、pasmoなど)を利用していますか。(SA)

N=スマホでキャッシュレス決済を利用している人

単位:% 利用計



- ■買い物と交通機関の乗車券・定期券で利用
- ■買い物のみに利用

■乗車券・定期券のみに利用

■交通系は利用していない

※利用計:「交通系は利用していない」以外の合計

スマホでのキャッシュレス決済の利用層が自身のスマホで利用可能なアプリの種類では、4種類以上(32.7%)が最も多く、2種類(26.0%)、3種類(22.1%)が2割台、1種類(19.2%)が最も少ない。

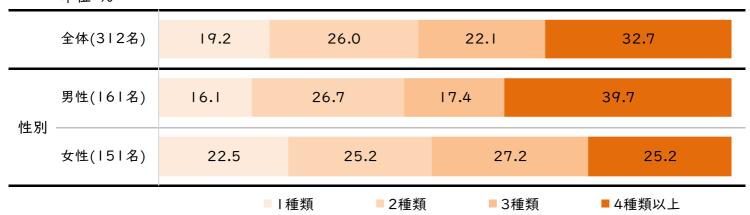
一方、週1回以上の頻度で利用するキャッシュレス決済の種類では、1種類(40.1%)が最も多く、2種類(28.5%)と合わせて約7割を占める。

利用可能なアプリが2種類以上である割合は、男性で83.9%、女性で77.5%であるのに対して、 週1回以上の頻度で利用するアプリが2種類以上である割合は、男性で62.7%、女性で57.0%である。

Q. ご自身のスマホでは、何種類のキャッシュレス決済が利用可能となっていますか。(SA)

N=スマホでキャッシュレス決済を利用している人

単位:%



Q. ご自身のスマホで週 I 回以上の頻度で利用するキャッシュレス決済は何種類ですか。(SA)

N=スマホでキャッシュレス決済を利用している人

单位:%

| 全体(312名) | 40.1 | 28.5 | 14.1 6.4 10.9 | |
|----------|------|------|----------------|--|
| 男性(161名) | 37.3 | 28.0 | 13.7 10.6 10.6 | |
| 女性(151名) | 43.0 | 29.1 | 14.6 2.1 11.3 | |
| | | | | |

■週 | 回以上の頻度で利用するキャッシュレス決済の主なブランド(利用者割合が | 0%以上)

| ブランド名 | PayPay | 楽天ペイ | Suica | d払い | |
|--------|--------|-------|-------|-------|--|
| 利用者の割合 | 60.4% | 19.4% | 15.8% | 12.9% | |

スマホでのキャッシュレス決済の利用層が、週1回以上の頻度で利用するアプリを選ぶ理由としては、「利用できるお店が多いから」(63.3%)が最も高く、「ポイントが付くから」(54.7%)、「よく行くお店で利用できるから」(45.7%)が続く。

上位の理由はいずれも男性より女性の割合が高く、「すでに使い慣れているから」で差が8.6ポイントと最も大きい。

Q. ご自身のスマホで特定のキャッシュレス決済を週 I 回以上の頻度で利用している理由として、あてはまるものをすべて選んでください。(MA)

N=スマホでキャッシュレス決済を利用していない人

※グラフは全体(312名)の割合

| | 男性 (161名) | 女性 (151名) |
|------|--|---|
| 63.3 | 61.1 | 65.7 |
| 54.7 | 53.5 | 56.0 |
| 45.7 | 43.1 | 48.5 |
| 29.1 | 25.0 | 33.6 |
| 28.1 | 25.7 | 30.6 |
| 26.3 | 23.6 | 29.1 |
| 16.5 | 13.9 | 19.4 |
| 12.2 | 13.9 | 10.4 |
| 10.8 | 9.7 | 11.9 |
| 9.4 | 10.4 | 8.2 |
| 9.0 | 7.6 | 10.4 |
| 8.6 | 8.3 | 9.0 |
| 8.3 | 8.3 | 8.2 |
| 6.5 | 8.3 | 4.5 |
| 5.0 | 6.3 | 3.7 |
| 4.3 | 6.9 | 1.5 |
| 4.0 | 4.2 | 3.7 |
| 3.6 | 5.6 | 1.5 |
| 2.9 | 4.9 | 0.7 |
| 1.1 | 1.4 | 0.7 |
| 0.4 | 0.7 | 0.0 |
| 0.4 | 0.7 | 0.0 |
| 4.0 | 4.9 | 3.0 |
| | 54.7 45.7 29.1 28.1 26.3 16.5 12.2 10.8 9.4 9.0 8.6 8.3 6.5 1.1 4.0 3.6 2.9 1.1 0.4 0.4 | (161名) 63.3 61.1 54.7 53.5 54.7 53.5 29.1 25.0 28.1 25.7 25.0 16.5 13.9 10.8 9.7 10.4 9.0 7.6 8.6 8.3 8.3 8.3 8.3 8.3 8.3 8.3 8.3 8.3 8.3 |

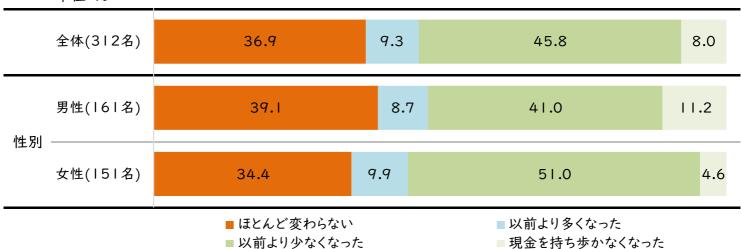
スマホでのキャッシュレス決済の利用層における現金の持ち歩きの現状については、 「以前より少なくなった」(45.8%)が最も高く、「ほとんど変わらない」(36.9%)が次に高い。 「以前より多くなった」「現金を持ち歩かなくなった」は1割未満。

キャッシュレス決済が利用不可のお店に対しては「どうしても利用したいお店のときだけ現金を用意する」(40.0%)が最も高く、「お店の利用を諦める」(32.0%)が次いで高い。

Q. ご自身のスマホでキャッシュレス決済を利用する以前と比べて、普段持ち歩く現金の金額は変化しましたか。(SA)

N=スマホでキャッシュレス決済を利用している人

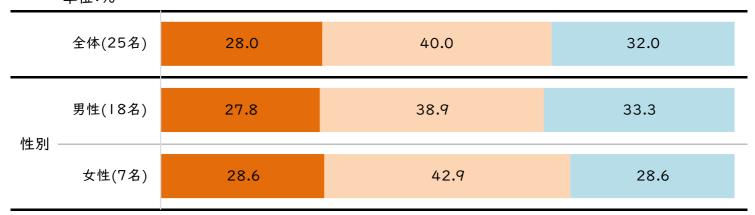




Q. 利用したいお店が現金のみ取り扱いの場合はどうしますか。(SA)

N=スマホでキャッシュレス決済を利用している人のうち、現金を持ち歩かなくなった人

単位:%



- ■ほとんどの場合で現金を用意する
- ■どうしても利用したいお店のときだけ現金を用意する
- ■お店の利用を諦める

● 交通系キャッシュレス決済利用層の大半が買い物にも利用

交通系のキャッシュレス決済の利用層は全体の70.5% (男性72.7%、女性68.1%)であり、このうちの51.6% (男性54.7%、女性48.3%)が交通機関の利用のためでなく、買い物にもキャッシュレス決済を利用している。買い物のみの利用層も10.9% (男性9.9%、女性11.9%)であり、大半が交通系キャッシュレス決済を買い物にも利用している。

交通機関の利用を便利にするためにスマホにキャッシュレス決済を導入する人は多いが、その大半が買い物にもキャッシュレス決済を利用している。交通系のキャッシュレス決済ではあるものの、すでにその枠にとどまらず、日常的な買い物にも利用が広がっている。

交通系とは言うものの、交通機関の乗車時だけでなく、一般的な買い物においても有力な決済手段 のひとつとして活用されている。

● 複数が利用可能でも、定期的に利用しているのは1~2種類だけ

スマホで利用可能なキャッシュレス決済の種類については、32.7%が「4種類以上」と回答し、「3種類」が22.1%、「2種類」が26.0%であり、「1種類」は19.2%と少数である。利用可能なキャッシュレス決済が2種類以上である割合は8割以上(80.8%)である。

一方、週1回以上の頻度で利用するキャッシュレス決済の種類については、40.1%が「1種類」と回答し、「2種類」が28.5%、「3種類」が14.1%であり、「4種類以上」は6.4%に留まる。「1種類」「2種類」の合計が約7割(68.6%)となっている。

多くのキャッシュレス決済をスマホで利用可能としているが、定期的に利用しているのは1~2種類に留まるというのが現状である。週1回以上の頻度で利用するキャッシュレス決済のブランドとしては、「PayPay」が60.4%と、2番手の「楽天ペイ」(19.4%)を大きく引き離している。

定期的に利用するキャッシュレス決済の選択理由としては「利用できるお店が多いから」(63.3%)、「ポイントが付くから」(54.7%)、「よく行くお店で利用できるから」(45.7%)が上位。使い勝手の良さとポイント付与が主な選択基準となっている。「使い慣れているから」を理由としているのは、男性(25.0%)より女性(33.6%)に多い。

● キャッシュレス決済により現金の持ち歩きは少なくなったが、 まったく持ち歩かなくなった人はごく少数

スマホでのキャッシュレス決済の利用層における現金の持ち歩きの現状については、「ほとんど変わらない」が36.9%、「以前より多くなった」が9.3%、「以前より少なくなった」が45.8%、「現金を持ち歩かなくなった」が8.0%である。「ほとんど変わらない」または「以前より少なくなった」の人が大半を占める。現金を持たずに出かける人は1割未満であり、スマホにキャッシュレス決済を導入すれば現金を持ち歩かなくて済む、というメリットを享受しているのは、ごく少数に留まる。

キャッシュレス決済が利用できないお店に対しては、「ほとんどの場合で現金を用意する」が28.0%、「どうしても利用したいお店のときだけ現金を用意する」が40.0%、「お店の利用を諦める」が32.0%である。お店に強い魅力がない場合、キャッシュレス決済を受け付けないことで顧客が利用を避けてしまう可能性は高い。

キャッシュレス決済はお店のインフラとして欠かせないツールとなっている。

トピックスリサーチ

スマホでのキャッシュレス決済の利用に関する調査データ ~利用層の分析 編~

発行日 2023年 3月 31日

発行・調査分析 朝日大学 マーケティング研究所

〒501-0296

岐阜県瑞穂市穂積1851

TEL: 058-326-1173

お問い合わせ marketing@alice.asahi-u.ac.jp